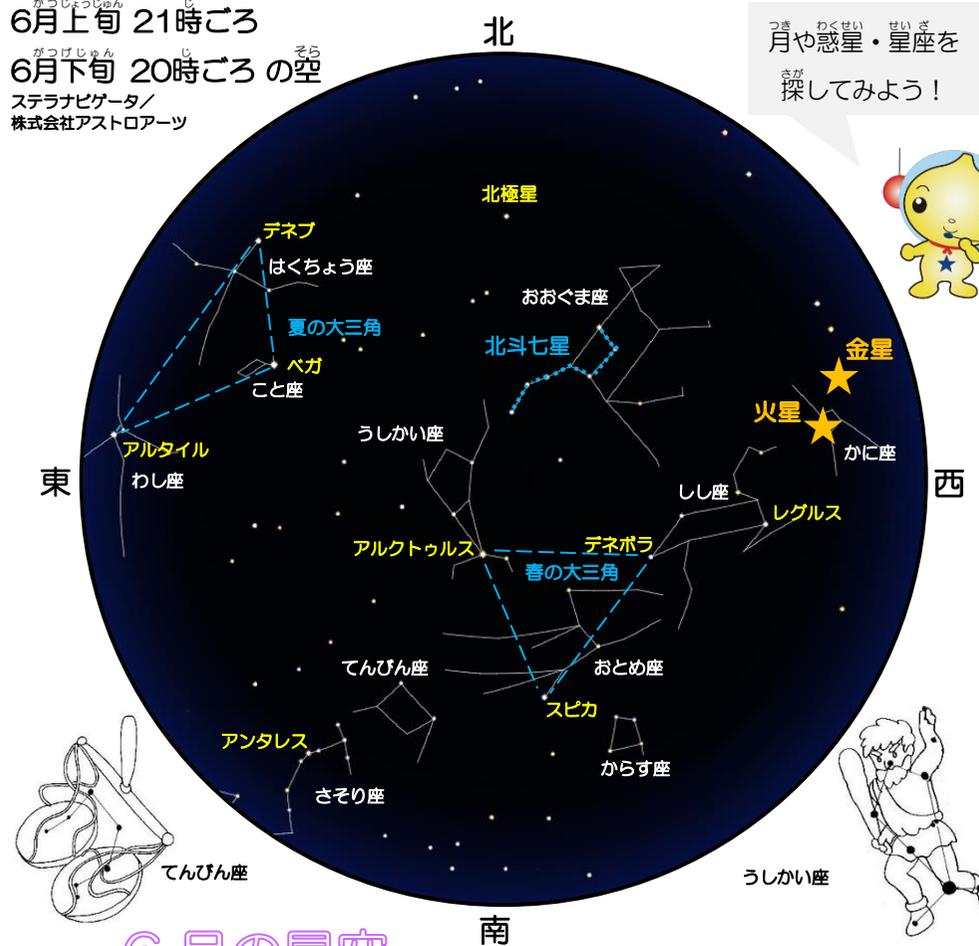


2023年 月刊 星空の散歩道 6月号

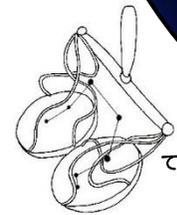
6月上旬 21時ごろ

6月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



月や惑星・星座を
探してみよう!



6月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空と南の空に春の星座が、東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > おとめ座 (スピカ)、さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

6月13日 金星とプレセペ星団が接近
日没後の西の空で、金星とかに座のプレセペ星団がとても近づいて見えます。観察には双眼鏡が必要ですが、チャレンジしてみませんか。

6月21日 夏至
北半球では1年の中で最も昼の時間が長い日。

6月22日 月と金星・火星が並ぶ
日没後、西の空低くで月の近くに金星と火星が見られます。

6月23日 月とレグルスが並ぶ
月の近くにしし座の一等星レグルスが見えます。

☆月の形の変化☆

- 6月4日 満月 ○
- 6月11日 下弦 ◐
- 6月18日 新月 ●
- 6月26日 上弦 ◑

☆6月の惑星☆

- 金星…日没後、西の空低く
- 火星…日没後、西の空低く

<天文コラム> 星がちらちらすると

雨が降りやすい?

雨に関係した諺に「星がちらちらすると雨」というものがあります。星がちらちらする理由は、空に風が吹いているからです。空気には薄いところと濃いところがあり、星の光がその空気の間を通るとわずかに屈折します。風が吹いていると、星と見ている人の間を空気が通り抜け、星の光を絶えずいろいろな方向へ屈折させ、ちらちら瞬いて見えるというわけです。さらに星の光が激しく瞬いて見える時は、上空の空気の流れが激しくなっている時で、前線や低気圧が近づいていて雨になりやすい。昔の人はこの仕組みがわからなくても、空の様子や天気の変化をよく観察して、諺を伝えてきたのでしょう。

(参考『親子で楽しむ星空の教科書』)

著：渡部潤一・渡部好恵



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2023年5月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

